



【各学年の重点目標】

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規律を守り、礼儀正しく行動する。 ・ 自主的に考え、行動しようとする。 ・ 周りの人や相手の気持ちを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生き方を真剣に考えようとする。 ・ 自分の行動・言動に責任をもつ。 ・ 時と場所、相手を考えて言動、行動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成のため、精一杯努力する。 ・ 思いやりと感謝の気持ちをもつ。 ・ 学校や地域の発展を願い、行動する。

各教科における道徳教育

〈国語〉
 思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。

〈社会〉
 広い視野に立って社会に対する関心を高め、公民的資質の基礎を養う。

〈数学〉
 事象を数理的に考察し、筋道を立てて考え、表現する能力を育成する。

〈理科〉
 自然に親しみ、自然と人間との関わりについて目を向けさせ、生命尊重と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

〈音楽〉
 音楽を愛する心を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を育てる。

〈美術〉
 創造する喜びを味わわせ、美しいものや崇高なものを尊重しようとする。

〈保健体育〉
 チームワークを重視した学習を通して、ルールを守り、集団のために協力しようとする態度を養う。

〈技術・家庭〉
 生活に必要な基本的な知識や技能を習得させることで、望ましい生活習慣を身に付け、勤労の尊さを理解させる。

〈外国語〉
 世界の中の日本人としての自覚をもたせ、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を養う。

特別の教科 道徳

学校の教育活動における道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う。

道徳科の目標
 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

質の高い学びのための3つの指導方法(例)

- ・ 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
- ・ 問題解決的な学習
- ・ 道徳的行為に関する体験的な学習

学習活動の工夫
 教材提示、発問、話し合い、書く活動、表現活動、板書、説話等の工夫

他の教育活動との関連
 人権教育、いじめ防止、自殺予防、情報モラル等との関連

総合的な学習の時間における道徳教育

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、社会が抱える課題と向き合わせ、自己の生き方について考えさせる。また、自ら考え、判断し、主体的に行動したり、他者と協力して生活しようとしたりする態度を養う。

特別活動における道徳教育

学校や学年、学級等での集団活動や体験的な活動を通して、役割や責任を果たそうとする態度、よりよい人間関係を築こうとする態度、節度ある生活をしようとする態度、目標の達成のため仲間と協力しようとする態度等を養う。

生活指導及び環境整備

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 規範意識の育成
- ・ 礼儀正しい挨拶と正しい言葉遣い
- ・ 望ましい人間関係の構築
- ・ 自治意識の向上
- ・ 図書館の整備及び読書指導
- ・ 清掃活動の充実と掲示環境整備
- ・ 学校花壇の整備

特色ある教育活動

- ・ 藤前干潟での環境学習
 (干潟の清掃)
- ・ 命を大切にする活動
 (花いっぱい活動)

家庭や地域社会との連携

- ・ 情報発信(学校だより、学年だより、学校HP)
- ・ 保護者と生徒が共に学ぶ活動
 (ネットトラブル講演会)